

●実習 シナリオシート

ロールプレイング設定見本

- **使命（テーマ）**：デブリードマンに対するインフォームド・コンセント

- **配役**：看護師，患者

- **状況設定**

80 歳代，男性

**既往歴**：脳梗塞

**診断名**：誤嚥性肺炎

寝たきりで全介助で自宅療養であった。今回，誤嚥性肺炎で入院・加療となっている。入院前より仙骨部に褥瘡を有していたが，入院後，仙骨部褥瘡が発赤，腫脹，疼痛の感染・炎症所見を認めため，外科的デブリードマンの実施が望ましい状態であった。そのため，患者に外科的デブリードマンのインフォームド・コンセントを得るために説明を行うこととなった。

BMI	Alb
18	3.2mg/dL

- **看護師役への提示情報**

特定行為研修を修了し，特定行為が実施できる看護師である。

- **患者役への提示情報**

元会社役員。年齢相応の健忘はある。

老人性難聴があり，はっきりとした大きな声でなければ，聞き取れない。

以前，脳梗塞を発症した際の入院時に，医療者の不適切な対応を経験し，医療不信がある。疼痛に対する閾値が低く，疼痛を伴う処置は受けたくない。

## ●実習 シナリオ例 1

### ロールプレイング設定（看護師）

- **使命（テーマ）**：特定行為研修を行う際のインフォームド・コンセント
  - **配役**：看護師，患者
  - **状況設定**
    - 60 歳代，男性
    - 妻と二人暮らし。娘は結婚して別居（遠方在住）。
    - 既往歴**：高血圧
    - 診断名**：肺がん
    - 場面**：会社の検診の胸部 X 線検査 で肺がんを指摘され，胸腔鏡下肺切除術のため入院となる。症状はない。
    - 手術前日に入院となり，各科の説明や術前検査などは終了しており，指導者から特定行為研修について簡単に説明は行われている。
    - 特定行為研修生が病室で妻と 2 人で在室しているところに特定行為研修の同意書を取得するため訪室する。
  - **看護師役への提示情報**
    - あなたは特定行為研修生です。経験年数や所属部署などは，あなたの立場でお答えください。
    - 患者は，会社の検診の胸部 X 線検査で肺がんを指摘され，胸腔鏡下肺切除術のため入院となっています。手術前日に入院となり，その夕方に特定行為研修の同意取得のため訪室しています。
    - 入院手続き，麻酔科の説明や術前検査などは終了しています。指導者から特定行為研修について簡単に説明は行われています。
    - 特定行為研修の説明書<sup>※</sup>などを使用して説明し，同意を得てください。説明内容や質問をするなど，あなたにお任せします。
- ※指定研修機関が使用しているパンフレットや説明書，同意書などの書面があれば，使用してください。該当する文書がない場合は，サンプルをご活用ください

## ●実習 シナリオ例 1

### ロールプレイング設定（患者）

- **使命（テーマ）**：特定行為研修を行う際のインフォームド・コンセント
- **配役**：看護師，患者
- **状況設定**
  - 60 歳代，男性
  - 妻と二人暮らし。娘は結婚して別居（遠方在住）。
  - 既往歴**：高血圧
  - 診断名**：肺がん
  - 場面**：会社の検診の胸部 X 線検査 で肺がんを指摘され，胸腔鏡下肺切除術のため入院となる。症状はない。
  - 手術前日に入院となり，各科の説明や術前検査などは終了しており，指導者から特定行為研修について簡単に説明は行われている。
  - 特定行為研修生が病室で妻と 2 人で在室しているところに特定行為研修の同意書を取得するため訪室する。
- **患者役への提示情報**
  - あなたは，妻（62 歳）と 2 人暮らしです。娘（30 歳）は結婚して遠方に住んでいます。家族との関係は良好です。健康に気をつけており，タバコを 30 歳のときにやめています。
  - お酒も 50 歳のときにやめており，今回の手術についてショックを受けています。症状はありません。また，サラリーマンで，仕事一筋で生きてきて定年を控え，後輩育成に力を入れています。
  - 1 か月後に大きなプロジェクトを任せており，早く仕事に復帰したいと考えています。
  - 納得しないと行動を起こさない性格で，これまで家族の大切なことは自分で決めてきています。
  - 妻のすすめもあり，手術を決断したものの，入院することが初めてで手術がうまくいくのか不安を感じています。
  - 医師の説明や術前検査などをひと通り終えて，自身の部屋で一息ついていたところ，特定行為研修の同意取得に研修生がやってきました。
  - ※あなたは，特定行為研修について医師から説明は受けましたが，さまざまな治療や検査の説明の中の一部だったのであまり覚えていません
  - 研修生と聞いて看護師の経験はなく，看護学生だと思っています。
  - また，医師がいないところで研修生が，医師の代わりにさまざまな治療を勝手に行うものと思っています。主治医のことは信頼しています。
  - 話の流れの中で，「初めての手術で，ただでさえ怖いのに，先生がいないところで，慣れてない人に医療行為されるのは怖いです」と話してください。
  - 最終的に，同意書にサインをするかどうかは，研修生の態度や説明内容などから，あなたが決めてください。

## ●実習 シナリオ例 2

### ロールプレイング設定（看護師）

- **使命（テーマ）**：特定行為研修を行う際のインフォームド・コンセントを得る
- **配役**：特定行為研修生，患者
- **状況設定**
  - 55歳，男性
  - 妻と2人暮らし．子供はいない．
  - 既往歴**：なし
  - 診断名**：中咽頭がん（cT4N2M0）
  - 化学療法＋放射線療法後の栄養管理のため胃ろう増設後
- **場面**：中咽頭がんは治療後1年経過しており，体重増減は著しくなく，外来フォロー中でがんの再発はない．2回目の胃ろう交換のために外来受診のため来院している．半年に1度の胃ろうチューブの定期交換であり，前回の胃ろう交換は問題なく行っていた．
  - 「特定行為研修として研修生が医師の代わりに胃ろう交換を行うことについて協力してほしい」と主治医から患者に説明されている．特定行為研修生として，同意書の取得のため訪室する．
- **看護師役への提示情報**
  - あなたは特定行為研修生です．経験年数や所属部署などは，あなたの立場でお答えください．特定行為研修の説明書※などを使用して説明し，同意を得てください．
  - 説明内容や質問をするなど，あなたにお任せします．
  - ※指定研修機関が使用しているパンフレットや説明書，同意書などの書面があれば，使用してください．該当する文書がない場合は，サンプルをご活用ください

## ●実習 シナリオ例 2

### ロールプレイング設定（患者）

- **使命（テーマ）**：特定行為研修を行う際のインフォームド・コンセントを得る

- **配役**：特定行為研修生，患者

- **状況設定**

55歳，男性

妻と2人暮らし。子供はいない。

**既往歴**：なし

**診断名**：中咽頭がん（cT4N2M0）

化学療法＋放射線療法後の栄養管理のため胃ろう増設後

**場面**：中咽頭がんは治療後1年経過しており，体重増減は著しくなく，外来フォロー中でがんの再発はない。2回目の胃ろう交換のために外来受診のため来院している。半年に1度の胃ろうチューブの定期交換であり，前回の胃ろう交換は問題なく行っていた。

「特定行為研修として研修生が医師の代わりに胃ろう交換を行うことについて協力してほしい」と主治医から患者に説明されている。特定行為研修生として，同意書の取得のため訪室する。

- **患者役への提示情報**

あなたは妻（50歳代）と2人暮らしです。子供はいません。がんの治療を行いつつ仕事をしています。胃ろうカテーテル交換において，前回の交換は問題ありませんでした。

※あなたは特定行為研修については医師から簡単に説明は受けていますが，ほとんど知りません。研修生と聞いて看護師の経験はなく，看護学生だと思っています。医師がいないところで研修生が，医師の代わりにさまざまな治療を勝手に行うものと思っています。

※話の流れに合わせて，以下の情報を提示してください

- ①前回交換時の痛みが強く胃ろう交換が怖いと感じていること
- ②食事摂取もできているため，胃ろう閉鎖はできないのか迷っていること
- ③これまで医師が行っていたことを看護師が実施して本当に安全なのか心配であること

最終的に，同意書にサインをするかどうかは，研修生の態度や説明内容などから，あなたが決めてください。

●実習 シナリオ例 3

ロールプレイング設定（看護師）

- **使命（テーマ）**：褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去の  
インフォームド・コンセント

- **配役**：看護師，家族（患者は寝たきり状態で意思疎通が図れない）

- **状況設定**

80 歳代，女性

夫は他界し，息子と 2 人暮らし

**既往歴**：認知症，脳出血後脳動脈瘤クリッピング（77 歳）

**診断名**：誤嚥性肺炎，仙骨部褥瘡

**場面**：数日前から元気がなく食欲不振となり，誤嚥性肺炎の診断で入院加療となる。

在宅からの持ち込みの褥瘡があり，皮膚科医師に相談の結果，外科的デブリードマンの適応と判断された。

本人は意思決定ができないため，息子が在室している。外科的デブリードマンのインフォームド・コンセントを得るために説明を行うこととなった。

- **看護師役への提示情報**

1 年前に褥瘡が発生，治癒の途中である。

仙骨部褥瘡 4.5×5cm ポケット計 6×6.5cm

DESIGN-R<sup>®</sup> D3-e3.s8.i0.G4.N3.P9（図 1）

皮膚科医師と相談の結果，壊死組織があり，外科的デブリードマンが望ましい状況である。

**採血データ：**

TP	Alb
4.9g/dL	2.5g/dL

図 1 褥瘡



食事摂取は少量を食事介助で経口摂取されているが時折むせていた。

患者は息子と 2 人暮らし。息子は母親思いで，これまでの治療に関する意思決定は息子が行っていた。

※なお，同意書が必要かどうかは，研修機関で設定してください

## ●実習 シナリオ例 3

### ロールプレイング設定（家族）

- **使命（テーマ）**：褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去の  
インフォームド・コンセント
- **配役**：看護師，家族（患者は寝たきり状態で意思疎通が図れない）
- **状況設定**
  - 80 歳代，女性
  - 夫は他界し，息子と 2 人暮らし
  - 既往歴**：認知症，脳出血後脳動脈瘤クリッピング（77 歳）
  - 診断名**：誤嚥性肺炎，仙骨部褥瘡
  - 場面**：数日前から元気がなく食欲不振となり，誤嚥性肺炎の診断で入院加療となる。  
在宅からの持ち込みの褥瘡があり，皮膚科医師に相談の結果，外科的デブリードマンの適応と判断された。  
本人は意思決定ができないため，息子が在室している．外科的デブリードマンのインフォームド・コンセントを得るために説明を行うこととなった。
- **家族役情報**
  - 母と 2 人暮らし（父は他界しています）．
  - 家族関係は良好です．不定期に日雇いの仕事をしています。
  - 母親思いで，母が元気な頃に話していた「痛みのある処置や延命処置はやめてね」という思いを大事にしており，できるだけ苦しませずに過ごしてほしいと考えています。
  - 母が少量でも食べてくれていると元気だと感じ安心しています．母が元気でいてくれることが何より重要と考えています。
  - ※息子の褥瘡処置に対する思いについて，質問があれば教えてください
  - 1 年前，褥瘡が発生した際に「少し切れば早く治る」と息子が医師から説明を受け，患者が外科的デブリードマンを受けました。
  - しかし，1 年が経過しても治癒に至っていない状態であり，処置を行ったせいで傷が大きくなり，回復に時間がかかったと思っています．息子は，これ以上の侵襲的な処置はあまり希望していません。

●実習 看護師による特定行為研修における実習の説明書

実習の説明書（サンプル）

該当する特定  
行為をご記入  
ください。

看護師特定行為研修における実習にあたり、特定行為研修生（以下研修生）が担当させていただき、治療・特定行為に関する見学ならびに手技をさせていただくことをご同意くださいますようお願い申し上げます。なお、実習に際しては以下のような考え方を基本としております。看護師特定行為教育の必要性をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。実習中、研修生が実施する特定行為は以下の項目です。

- 
- 
- 

研修生が治療・特定行為に関する見学ならびに手技をする場合、安全の確保を最優先とします。研修生は看護師として経験を積んでおり、さらに手技を行うにあたって事前に十分な練習、ならびに技術試験を受けてから、指導者の指導下にて実施いたします。

尚、実習に際しては、以下の点を保証いたします。

1. 研修生による実習を拒否しても、患者の治療等に何ら不利益が生じないこと
2. 研修生による実習に同意した後も、看護師が行う実習を無条件に拒否することができること。また、拒否を理由とした、治療等における不利益が生じないこと
3. 研修生が実習を通して知り得た患者・家族に関する情報については、実習目的以外に利用せず、プライバシーの保護に努めること

令和 年 月 日

説明医師

研修生

看護師による特定行為研修実習を行うことについて、私は医師及び研修生により、上記のように説明を受けました。医師の指導のもとに、私の特定行為実習を行うことを承諾いたします。

令和 年 月 日

患者（家族）氏名

●実習/演習 フィードバック用紙

所属施設：

氏名：

評価表の評価基準を確認し、各項目をしてください。

自己評点

他研修生からの評価

評点	フィードバック・コメント

指導教員評価/他職種からの評価

評点	フィードバック・コメント



●演習 臨床場面における倫理的課題の検討シート

2. 4分割表を活用した情報を整理してください。

確認用：Jonsen の 4 分割表

<p><b>【医学的適応】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 患者の医学的問題は何か？ 病歴は？ 診断は？ 予後は？</li> <li>2. 急性か，慢性か，重態か，救急か？ 可逆的か？</li> <li>3. 治療の目標は何か？</li> <li>4. 治療が成功する確率は？</li> <li>5. 治療が奏効しない場合の計画は何か？</li> <li>6. 要約すると，この患者が医学的及び看護的ケアからどのくらいの利益を得られるか？ また，どのように害を避けることができるか？</li> </ol>	<p><b>【患者の意向】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 患者には精神的判断能力と法的対応能力があるか？ 能力がないという根拠はあるか？</li> <li>2. 対応能力がある場合，患者は治療への意向についてどう言っているか？</li> <li>3. 患者は利益とリスクについて知らされて，それを理解し，同意しているか？</li> <li>4. 対応能力がない場合，適切な代理人は誰か？ その代理人は意思決定に関して適切な基準を用いているか？</li> <li>5. 患者は以前に意向を示したことがあるか？ 事前指示はあるか？</li> <li>6. 患者は治療に非協力的か，又は協力できない状況か？ その場合は，なぜか？</li> <li>7. 要約すると，患者の選択権は倫理・法律上，最大限に尊重されているか？</li> </ol>
<p><b>【QOL】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 治療した場合，あるいはしなかった場合に，通常の生活に復帰できる見込みはどの程度か？</li> <li>2. 治療が成功した場合，患者にとって身体的，精神的，社会的に失うものは何か？</li> <li>3. 医療者による患者の QOL 評価に偏見を抱かせる要因はあるか？</li> <li>4. 患者の現在の状態と予測される将来像は延命が望ましくないと判断されるかもしれない状態か？</li> <li>5. 治療をやめる計画やその理論的根拠はあるか？</li> <li>6. 緩和ケアの計画はあるか？</li> </ol>	<p><b>【周囲の状況】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 治療に関する決定に影響する家族の要因はあるか？</li> <li>2. 治療に関する決定に影響する医療者側の要因はあるか？</li> <li>3. 財政的・経済的要因はあるか？</li> <li>4. 宗教的・文化的要因はあるか？</li> <li>5. 守秘義務を制限する要因はあるか？</li> <li>6. 資源分配の問題はあるか？</li> <li>7. 治療に関する決定に法律はどのように影響するか？</li> <li>8. 臨床研究や教育は関係しているか？</li> <li>9. 医療者や施設側で利害対立はあるか？</li> </ol>

●演習 臨床場面における倫理的課題の検討シート

所属施設：

氏名：

2. 4分割表を活用した情報を整理してください。

- ・事実と解釈が明確になるように記載する
- ・さらに確認が必要な情報については、誰に、どのように確認するのかを記載する

<p><b>【医学的適応】</b></p>	<p><b>【患者の意向】</b></p>
<p><b>【QOL】</b></p>	<p><b>【周囲の状況】</b></p>

●演習 臨床場面における倫理的課題の検討シート

所属施設：

氏名：

---

**3. 倫理原則に基づく検討を行い、問題点を明確にしてください。**

- ・倫理的課題と思われる事項を抽出し、倫理原則に基づき説明を行い、価値の対立を明確にする
- ・この状況を放置することで、患者や家族にとって、損なわれる権利とは何か？
- ・検討するうえでさらに情報の確認が必要な事項を列挙する

【価値の対立は？】

【患者や家族にとって、損なわれる権利や価値観は何か？】

**4. 看護師として、どのような倫理的意思決定を行い、どのように行動すべきかについて説明してください。**

1) 実際の行動

2) どのように行動すべきであったのか？